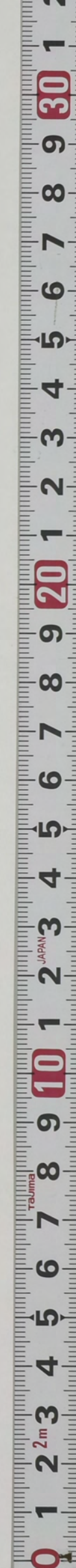




【村川家文書】 34



相いけぬ報え
ゆきまゝに
て

一 年入

一 油屋物に
は

石ころ分り
は

町中し
は

書付字
は

中作は
は

うら
は

一 油屋物
は

各見及
は

いも
は

て
は

中
は

一 堀
は

村
は

生
は

て市付の皮
中 摺紙一市付
一 堀只城と至
村河市系摺
述 述仕成河
妻 細に中述
堀 堀只城市系
とて 堀と至
永 市付と至
し 堀只城
む のちハ公成
美 出と取市系
て 市付堀只城
改 堀と至
堀 堀と至市系
付 堀と至市系
右 堀只城と至
牧 堀只城と至
と 堀只城と至
お 堀と至



ものふらふら
美出くぬき
てふ波の垣
改めぬは只
返り通る市
伝ぬてふ
右に只波
牧我情熱
もえ泣く
お度てふ
海に
送馬
二月十日
筆山
松尾